

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

Hokkaido Research Center of Geology

2021 年度年報

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

目 次

I. 北海道総合地質学研究センターについて	1
II. 活動および事業	2
III. 会員による研究活動	6
IV. 会計決算	10
V. 無償役務, 寄付金および賛助金受入れなど	13
VI. 後援, 助成金受入れなど	13



2022 年 (令和 4 年) 7 月 20 日発行

I. 北海道総合地質学研究センターについて

1. 目的

本法人は、地質学に関する研究・教育・実務などの高度な創造的活動を行なおうとする者のために必要な環境を用意し、その支援を行うとともに成果の普及活動を行い、それによって純粋地質学から自然防災を含む応用的地質学など幅広い範囲におよぶ「総合地質学」の研究の推進、およびそれに基づく社会的貢献、特に一般市民の地質学に関する基礎知識の増進に貢献することを目的とする。

2. 法人番号 6-4300-05-012719

3. 役員（2022年3月31日現在）

理事長：前田 仁一郎

副理事長：嵯峨山 積

専務理事：宮下 純夫，中川 充

理事：石崎 俊一，岡 孝雄，岡村 聡，川村 信人，君波 和雄，嵯峨山 積，関根 達夫，高波 鐵夫，中川 充，前田 仁一郎，松田 義章，宮下 純夫，柳下 文夫

監事：在田 一則，加藤 孝幸

4. 会員（2022年3月31日現在）

36名．内訳：正会員 20名，一般会員 14名，院生・学生会員 1名，賛助会員 1名

5. メールマガジン（HRCG Newsletter）購読者（2022年3月31日現在）

33名（会員以外）

6. 所在地・電話・電子メール・ホームページ

〒063-0002 北海道札幌市西区山の手2条3丁目5番24号

電話 080-5830-2016

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階

市民活動サポートセンター内 事務ブース No.3（2021年4～8月まで使用）

office@hrcg.jp <http://www.hrcg.jp/>

7. 定款・設立趣旨書などの文書

定款：<http://hrcg.jp/documents/Teikan.pdf>

設立趣旨書：<http://hrcg.jp/documents/Shushi.pdf>

プライバシーポリシー：<http://hrcg.jp/documents/privacy.pdf>

会員の行動と知的所有権に関する基本的な考え方：<http://hrcg.jp/documents/Chiteki.pdf>

II. 活動および事業

2021（令和3）年

- 4月8日 幹事会 オンライン開催
- 4月20日 科学技術振興機構から著者抄録利用許諾の依頼.
- 4月26日付で許諾を通知.
- 4月25日 通常総会開催 ハイブリッド開催
- 4月25日 第5回会員交流会 ハイブリッド開催
- 5月9日 幹事会 オンライン開催
- 5月15日 入会（一般会員）申請受付・入会承認（5月18日付）
- 5月19日 HRCG 通信 No. 3 発行（5月19日付）
- 5月20日 ホームページ更新
- 5月24日 HRCG 通信 No. 3 印刷 + 発送作業
- 5月26日 所轄庁（札幌市）に事業報告書等提出
- 5月26日 所轄庁（札幌市）に役員変更届提出
- 5月28日 法人道民税減免通知
- 5月30日 幹事会 オンライン開催
- 6月3日 正会員 山岸宏光氏死去
- 6月11日 法人市民税減免通知
- 6月20日 幹事会 オンライン開催
- 6月20日 会員の葬儀の際の弔意の表明についての幹事会申し送り事項決定
- 6月23日 ホームページ更新
- 6月24日 所轄庁（札幌市）に役員変更届を提出
- 6月27日 メールマガジン Newsletter No. 46 発行
- 7月3日 第16回研究セミナー オンライン開催
- 7月8日 ホームページ更新
- 7月8日 エルプラザ事務ブース使用団体活動報告書 2021年1～3月および4～6月分
- 7月15日 メールマガジン Newsletter No. 47 発行
- 7月15日 ホームページ更新
- 7月15日 2020年度年報発行
- 7月18日 幹事会 オンライン開催
- 7月21日 ホームページ更新
- 7月25日 第3回論文輪読会 オンライン開催
- 7月30日 メールマガジン Newsletter No. 48 発行
- 7月30日 ホームページ更新
- 8月1日 幹事会 オンライン開催

8月7日 エルプラザ事務ブース退去手続き
8月9日 ホームページ更新
8月11日 メールマガジン Newsletter No. 49 発行
8月19日 HRCG 通信 No. 4 発行 (8月19日付)
8月20日 第2回野外観察会準備・下見
8月24日 2020年度年報と HRCG 通信 No. 4 印刷 + 発送
8月30日 エルプラザ事務ブース退去作業 16
8月31日 メールマガジン Newsletter No. 50 発行
8月31日 ホームページ更新
9月2日 イオンパンフ置場 2021年度後期利用申請
9月9日 ホームページ更新
9月10日 イオンパンフ置場 2021年度後期利用承認 (桑園・発寒・藻岩)
9月16日 入会 (一般会員) 申請受付・入会承認 (9月17日)
10月16日 第2回野外観察会実施
10月20日 総合地質 5巻1号発行
10月27日 エルプラザ事務ブース使用団体活動報告書 2021年7~8月分 (これが最後の報告)
10月29日 総合地質寄贈・納本作業
11月4日 幹事会 オンライン開催
11月11日 HRCG 通信 No. 5 完成 (11月12日付発行)
11月15日 HRCG 通信 No. 5 および No. 4 修正版 印刷 + 発送
11月19日 北大図書館に法人として文献複写を依頼
11月24日 ホームページ更新
12月4日 幹事会 オンライン開催
12月9日 ホームページ更新
12月10日 近畿日本ツーリスト問い合わせ
12月11日 メールマガジン Newsletter No. 51 発行
12月12日 ホームページ更新
12月20日 メールマガジン Newsletter No. 52 発行
12月20日 ホームページの https 化
12月20日 総合地質 URL 変更を国会図書館に通知
12月25日 入会 (一般会員) 申請受付・入会承認 (2022年1月6日付)

2022 (令和4) 年

1月7日 新加入会員情報基盤利用設定
1月8日 幹事会 オンライン開催, 幹事会で次年度以降の運営体制の検討を開始
1月9日 メールマガジン Newsletter No. 53 発行
1月10日 入会申込書 新版作成

1 月 11 日 ホームページ更新
1 月 15 日 エルプラザ ロッカー使用申請
1 月 22 日 研究セミナー延期決定
1 月 23 日 メールマガジン Newsletter No. 54 発行
2 月 11 日 幹事会 オンライン開催
2 月 19 日 幹事会 オンライン開催
2 月 20 日 通常総会 (2022 年 5 月 15 日開催) 会場確保
2 月 23 日 イオンパンフ置場 2022 年度前期利用申請
2 月 26 日 HRCG 通信 No. 6 完成 (2 月 25 日付発行)
2 月 28 日 HRCG 通信 No. 6 印刷 + 発送
3 月 5 日 幹事会 オンライン開催
3 月 11 日 ロシアのウクライナ侵攻に関する声明発表 (札幌市役所プレスリリース, ロシア大使館・ロシア総領事館・ウクライナ大使館郵送)
3 月 11 日 ホームページ更新
3 月 11 日 札幌市助成金 2022 年度前期締切日 (不申請)
3 月 12 日 メールマガジン Newsletter No. 55 発行
3 月 13 日 第 6 回会員交流会 開催 オンライン
3 月 15 日 イオンパンフ置場 2022 年度前期利用承認 (発寒・藻岩) 受取
3 月 18 日 メールマガジン Newsletter No. 56 発行
3 月 18 日 ホームページ更新
3 月 19 日 エルプラザ F2 レターケース利用申込
3 月 26 日 会員から投稿動画の紹介依頼
3 月 26 日 エルプラザ F4 ロッカー内容物撤去
3 月 29 日 エルプラザ F2 ロッカー内容物移動
3 月 31 日 イオン発寒店パンフ置場のリーフレット移動, 桑園店パンフ置場からリーフレット回収

総合地質 (5 巻, 1 号, 2021 年 10 月 20 日発行)

君波和雄: 日本海の拡大と中新世瀬戸内火山帯の高 Mg 安山岩火成活動とを関連づける造構モデル

嵯峨山 積・藤原与志樹・井島行夫・岡村 聡: 北海道石狩湾沿岸の分部越観測井の火山灰分析と埋没地形の検討

嵯峨山 積・佐藤 明・井島行夫・岡村 聡: 札幌扇状地で掘削された更新統 SCH ボーリングコアの層序

加藤孝幸・水落幸広・二ノ宮 淳・岡本征雄・矢島達哉・斉藤晃生・徂徠正夫: 神居古潭帯周辺における蛇紋石の沈澱現象と低温蛇紋岩化作用

岡 孝雄・星野フサ・関根達夫・米道 博・近藤 務・若松幹男：最終氷期後期の有珠成層火山の形成で生じた
長流川の堰き止め湖

嵯峨山 積・星野フサ・井島行夫・近藤玲介・関根達夫・小田桐 亮・宮入陽介・横山祐典：古倶知安湖の
検証ーその 2ー：北海道倶知安町の上部更新統真狩別層の ^{14}C 年代値、火山灰、花粉および珪藻の
分析

宮坂省吾：樽前山 1874 年火口を見たイザベラ・バード

松田義章・山岸宏光：室蘭・絵鞆半島に 1,000 万年前の海底火山の活動の跡を見る

君波和雄：論文紹介

追悼 山岸宏光会員

研究セミナー

第 16 回（2021 年 7 月 3 日）出席者：13 名（オンライン開催）

嵯峨山 積・星野フサ・井島行夫・近藤玲介・関根達夫・小田桐 亮・宮入陽介・横山祐典：古倶知安湖の検証
ーその 2ー：上部更新統真狩別層の 2020 年度調査の成果

関根達夫：フリー 3DCG ソフト「Blender」で描いた地質 3D と三角州等の水理実験の紹介

宮下純夫・草野有紀・足立佳子・海野 進：オマーンオフィオライトの溶岩層ー海洋地殻溶岩層の層序とその形
成プロセス

加藤聡美：日高帯北部・下川オフィオライトにおける高発泡ドレライト岩床の発泡の要因及び、MORB 中の曹
長石-カリ長石集合物の起源

会員交流会

第 5 回（2021 年 4 月 25 日）ハイブリット開催 出席者：17 名

中川 充：地質調査所北海道支所の黎明期写真

加藤孝幸：断裂と熱水変質からみた地熱開発のターゲット

宮坂省吾：樽前山 1874 年噴火を見た人たちー船越長善の精細画像を中心に

第 6 回（2022 年 3 月 13 日）オンライン開催 出席者：9 名

高波鐵夫：北海道とその周辺海域の最近の地震活動（2018 年～2021 年）

関根達夫：パワーポイント（PPT）のスライド録画

関根達夫：日本地形用語事典：QGIS に掲載範囲を描く

岡 孝雄：然別湖北岸ヤンベツ川下流の最終氷期および完新世の堆積物について

論文輪読会

第 3 回（2021 年 7 月 25 日）オンライン開催

紹介者：君波和雄，紹介論文：Artemieva, I.M., Thybo, H., & Shulgin, A. (2016) Geophysical constraints on
geodynamic processes at convergent margins: A global perspective. Gondwana Research, 33, 4-23.

紹介者：高波鐵夫，紹介論文：Kobayashi, H., Koketsu, K., Miyake, H., & Kanamori, H. (2020) Similarities

and differences in the rupture processes of the 1952 and 2003 Tokachi-oki earthquakes. Journal of Geophysical Research: Solid Earth, 126, e2020JB020585. <https://doi.org/10.1029/2020JB020585>.

野外観察会

第2回（2021年10月16日）

「藻南公園周辺の地形地質」 案内者：関根達夫，岡 孝雄，嵯峨山 積．参加者 11 名．

HRCG 通信

第3号（2021年5月19日発行）

山岸宏光・松田義章・志村一夫，NHK ブラタモリ「室蘭」のその後

松田義章，北海道産石材の文化地質学，特に小樽軟石について

木村則子，新入会員の声

第4号（2021年8月19日発行）

前田仁一郎，山岸宏光さんのご逝去を悼む

加藤孝幸，断裂と熱水変質からみた地熱開発のターゲット

中川 充，札幌初のコンクリート建造物

前田仁一郎，縄文遺跡群が世界文化遺産に

第5号（2021年11月12日発行）

宮坂省吾，樽前山 1874 年火口を見たイザベラ・バード

関根達夫，第2回 HRCG 野外観察会「藻南公園」報告

古沢 仁，新入会員の声

宮下純夫，総合地質の継続と発展のために

第6号（2022年2月25日発行）

高波鐵夫，使命を終えた広帯域高感度地震計，現地の博物館で蘇る

岡 孝雄・関根達夫・星野フサ，有珠成層火山の形成で堰き止め湖が発生

関根達夫，干渉色標高図の紹介

前田仁一郎，今後の活動について

Ⅲ. 会員による研究活動

1) 学術論文など（査読有）

加瀬善洋・川上源太郎・小安浩理・高橋 良・嵯峨山 積・仁科健二，2022，北海道津軽海峡沿岸域で認められたイベント堆積物．地質学雑誌，128，7-26．

加藤孝幸・水落幸広・二ノ宮 淳・岡本征雄・矢島達哉・斉藤晃生・徂徠正夫，2021，神居古潭帯周辺における蛇紋石の沈澱現象と低温蛇紋岩化作用．総合地質，5，25-48．

加藤孝幸・東 豊土，2021，北海道平取町岩知志の蛇紋岩体と泥岩のテクトニックな接触関係．地球科学，

75, 201.

加藤孝幸・東 豊土, 2021, 北海道占冠村赤岩青巖峽の低温沈澱性蛇紋石脈. 地球科学, 75, 202.

君波和雄, 2021, 日本海の拡大と中新世瀬戸内火山帯の高 Mg 安山岩火成活動とを関連づける造構モデル. 総合地質, 5, 1-12.

松田義章・山岸宏光, 2021, 室蘭・絵鞆半島に 1,000 万年前の海底火山の活動の跡を見る. 総合地質, 5, 89-98.

宮坂省吾, 2021, 1874 年火口を見たイザベラ・バード. 総合地質, 5, 81-88.

岡 孝雄・星野フサ・関根達夫・米道 博・近藤 務・若松幹男, 2021, 最終氷期後期の有珠成層火山の形成で生じた堰き止め湖. 総合地質, 5, 49-70.

岡村 聡・宮坂省吾, 2021, 札幌市近郊の新第三紀後期火山群の形成史の解明と市民対象観察会の実施. 地学雑誌, 130, N49.

嵯峨山 積・藤原与志樹・井島行夫・岡村 聡, 2021, 北海道石狩湾沿岸の分部越観測井の火山灰分析と埋没地形の検討. 総合地質, 5, 13-18.

嵯峨山 積・星野フサ・井島行夫・近藤玲介・関根達夫・小田桐 亮・宮入陽介・横山祐典: 古俱知安湖の検証—その 2—: 北海道俱知安町の上部更新統真狩別層の ^{14}C 年代値, 火山灰, 花粉および珪藻の分析. 総合地質, 5, 71-80.

嵯峨山 積・佐藤 明・井島行夫・岡村 聡, 2021, 札幌扇状地で掘削された更新統 SCH ボーリングコアの層序. 総合地質, 5, 19-23.

2) 学術論文など (査読無)

3) 学術書籍, 一般書籍・雑誌など

嵯峨山 積, 2022, 石狩低地帯の成り立ち: 地形と地質. 北海道自然保護協会, 北海道の自然, 60, 3-10.

4) 学術講演・学会発表 (口頭・ポスター) など

相澤正隆・新城竜一・岡村 聡・平井康裕, 2021, 隠岐諸島に産する後期新生代火山岩類の起源マンタルの地球化学的変遷. 日本地質学会第 128 年学術大会講演 (9 月 6 日; オンライン開催).

宮下純夫・草野有紀・足立佳子・海野 進, 2021, オマーンオフィオライトの溶岩層-海洋地殻溶岩層の層序とその形成プロセス. HRCG 第 16 回研究セミナー (7 月 3 日; オンライン開催).

岡 孝雄, 2022, 自治体研究職員 (北海道立地下資源調査所) として関わった幌延問題. 応用地質研究会 2021 年総会講演会 (1 月 10 日; オンライン開催).

岡村 聡, 2021, 高レベル放射性廃棄物の地層処分場の科学的特性 - 北海道寿都町・神恵内村の地質学的特徴からの検討 - (招待講演). 日本地球惑星科学連合 2022 年大会 (オンライン開催).

岡村 聡, 2021, 寿都町・神恵内村は深地層処分の適地か? - 地質学的視点から考える (基調講演). 地団研福島総会科学運動シンポジウム (8 月 22 日; オンライン開催).

岡村 聡, 2022, 幌延問題と共通する寿都町の「核のゴミ」地層処分問題. 応用地質研究会 2021 年総会講演会 (1 月 10 日 ; オンライン開催).

嵯峨山 積・星野フサ・井島行夫・近藤玲介・関根達夫・小田桐 亮・宮入陽介・横山祐典, 2021, 古倶知安湖の検証-その 2- : 上部更新統真狩別の 2020 年度調査の成果. HRCG 第 16 回研究セミナー (7 月 3 日 ; オンライン開催).

嵯峨山 積・星野フサ・井島行夫・近藤玲介・関根達夫・井上 隆・小田桐 亮・宮入陽介・横山祐典, 2021, 古倶知安湖の検証 : 北海道倶知安町の後期更新統真狩別層の層序. 日本地質学会第128年学術大会講演 (9月6日 ; オンライン開催)

嵯峨山 積・井島行夫・岡村 聡・宿田浩司, 2021, 石狩低地の地下地質と埋没地形の検討. 日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会令和 3 年度研究発表会講演予稿集, 11-14. (12 月 3 日 ; オンライン開催).

関根達夫, 2021, フリー3DCG ソフト「Blender」で描いた地質 3D と三角州等の水理実験の紹介. HRCG 第 16 回研究セミナー (7 月 3 日 ; オンライン開催).

5) 一般講演

加藤孝幸, 2021, 断裂と熱水変質からみた地熱開発のターゲット. HRCG 第 5 回会員交流会, 4 月 25 日.

松田義章, 2021, 小樽の地質と天狗山の大地の過去・現在・未来. 小樽道新文化センター文化講座, 6 月 27 日.

松田義章, 2021, 小樽の地質遺産 (1) 小樽が世界に誇る地質遺産について. 小樽道新文化センター, 7 月 4 日.

松田義章, 2021, 小樽学への誘い : 小樽の地形・地質の特性. 小樽商科大学「小樽学」講座, 11 月 8 日.

松田義章, 2021, 小樽の地形や地質と朝里川の特性. 小樽・朝里遺産の保存研究会・会員研修, 12 月 4 日.

松田義章, 2022, 地学的に見た, 小樽の山, 川, 海岸, 都市景観 (1) 「小樽の山々の生い立ち」. 小樽道新文化センター文化講座, 1 月 23 日.

松田義章, 2022, 地学的に見た, 小樽の山, 川, 海岸. 都市景観 (2) 「朝里川や小樽西部海岸の特性」. 小樽道新文化センター文化講座, 2 月 27 日.

松田義章, 2022, 地学的に見た, 小樽の山, 川, 海岸, 都市景観 (3) 「小樽の都市景観の地学的特性と考古地質」. 小樽道新文化センター講座, 3 月 27 日.

宮坂省吾, 2021, 樽前山 1874 年噴火を見た人たちー船越長善の精細画像を中心に. HRCG 第 5 回会員交流会, 4 月 25 日.

中川 充, 2021, 地質調査所北海道支所の黎明期写真, HRCG 第 5 回会員交流会, 4 月 25 日.

岡 孝雄, 2021, 北広島市周辺の地質 (新第三紀～第四紀) のまとめとボールパーク付近の地質検討. 第 153 回最終間氷期勉強会, 6 月 26 日 (北広島市広葉交流センター).

岡 孝雄, 2022, 湧別町シブノツナイ堅穴住居群関連の火山灰の分析と同定. 令和 3 年度湧別町シブノツナイ堅穴住居群調査検討委員会, 2 月 22 日 (オンライン講演).

岡 孝雄, 2022, 然別湖北岸ヤンベツ川下流の最終氷期および完新世の堆積物について. HRCG 第 6 回会員交流会, 3 月 13 日.

岡村 聡, 2021, 北海道の「核のゴミ」処分問題を考える - 研究者から見た寿都・神恵内・幌延の地質. さっぽろ自由学校「遊」連続講座, 第 3 回, 6 月 16 日.

嵯峨山 積, 2021, 石狩低地帯の生い立ち: 地形と地質. 北海道自然保護協会主催, 自然保護大学「石狩低地帯の成り立ちとその生物学的意義」, 11 月 13 日 (アスティ 45).

関根達夫, 2022, パワーポイント (PPT) のスライド録画. HRCG 第 6 回会員交流会, 3 月 13 日.

関根達夫, 2022, 日本地形用語事典: QGIS に掲載範囲を描く. HRCG 第 6 回会員交流会, 3 月 13 日.

高波鐵夫, 2022, 北海道とその周辺海域の最近の地震活動 (2018 年~2021 年). HRCG 第 6 回会員交流会, 3 月 13 日.

6) 巡検・見学会リーダーなど

松田義章, 2021, 小樽・天狗山の生い立ち. おたるネイチャースクール野外観察会, 7 月 11 日.

松田義章, 2021, 小樽の地質遺産 (2) 小樽運河周辺の倉庫を造っている石とそのルーツを尋ねて. 小樽道新文化センター文化講座, 8 月 1 日.

松田義章, 2021, 小樽の地質遺産 (3) 忍路の考古遺跡と大昔の海底火山の活動の跡を探る. 小樽道新文化センター文化講座, 9 月 12 日.

松田義章, 2021, 小樽の歴史的建造物と小樽軟石・札幌軟石. おたるネイチャースクール野外観察会, 10 月 9 日.

松田義章, 2021, 小樽の考古遺跡を訪ねて. おたるネイチャースクール野外観察会, 10 月 23 日.

松田義章, 2021, 石狩湾と小樽の海岸の砂を探る. 小樽ネイチャースクール野外観察会, 11 月 6 日.

三浦孝一・柴田信一・加藤孝幸, 2021, 八雲平野の成りたち. ユーラップジオパーク構想現地見学会. 10 月 23 日.

関根達夫, 岡 孝雄, 嵯峨山 積, 2021, 藻南公園周辺の地形地質. HRCG 野外観察会, 10 月 16 日.

IV. 会計決算

2022 年 3 月末 (2021 年度)

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究中心
2021 年度決算

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日 (単位：円)

収入				
1. 経常収益	科目	予算	決算	差額
1. 受取会費	正会員受取会費	120,000	132,000	△ 12,000
	一般会員受取会費	23,000	24,000	△ 1,000
	賛助会員受取会費	10,000	10,000	0
	院生・学生会員受取会費	1,000	2,000	△ 1,000
	受取会費合計	154,000	168,000	△ 14,000
2. 受取寄付金	受取寄付金	100,000	61,500	38,500
	無償役務受入評価益	2,000,000	1,737,544	262,456
	無償施設・機器等受入評価益	0	0	0
	受取寄付金合計	2,100,000	1,799,044	300,956
	受取助成金等			
3. 受取助成金等	受取助成金	0	0	0
	受取補助金	0	0	0
	受取助成金等合計	0	0	0
	事業収益			
	総合地質出版事業	15,000	36,500	△ 21,500
5. その他収益	研究セミナー開催事業	0	0	0
	公開講座実施事業	0	0	0
	アウトリーチ事業	0	0	0
	事業収益合計	15,000	36,500	△ 21,500
	受取利息	2	4	△ 2
その他収益合計	雑収益	998	1,110	△ 112
		1,000	1,114	△ 114
		2,270,000	2,004,658	265,342

支出					
II. 経常費用					
科目	予算	決算	差額	備考	
1. 事業費					
(1) 人件費					
給与	0	0	0	計上せず = 職員を雇用せず	
謝金	0	0	0		
役員報酬費	0	0	0		
無償役員報酬費用	250,000	324,612	△ 74,612		
人件費合計	250,000	324,612	△ 74,612		
(2) その他経費					
講義準備・資料作成準備必要経費	0	0	0		
会議費	18,000	1,500	16,500	第17回研究セミナー用 (1/29: 中止)	
旅費・交通費	0	0	0		
広報・宣伝費	0	0	0		
通信費	5,000	10,808	△ 5,808	総合地質情報本郵送: 1,110円 (370円×3), 総合地質販売: 1,110円, 第4～6号HRCG通信郵送: 8,252円, 研究セミナー・野外観察会案内: 336円	
印刷・製本費	33,000	75,680	△ 42,680	総合地質 vol. 5 (116 p., 30冊)	
事務用品費	1,000	0	1,000		
消耗品費	2,000	0	2,000		
支払等手数料	500	330	170	三誠社口座振込	
事業経費	1,000	10,200	△ 9,200	第17回研究セミナースクリーン代: 200円, 「総合地質」編集経費: 10,000円	
無償施設・機器等受入評価費用	0	0	0		
その他経費合計	60,500	98,518	△ 38,018		
事業費合計	310,500	423,130	△ 112,630		
2. 管理費					
(1) 人件費					
役員報酬	0	0	0	計上せず	
給与	0	0	0	計上せず = 職員を雇用せず	
謝金	5,000	0	5,000	事務作業補助, 会計作業補助, ホーム頁更新作業補助など	
役員報酬費	0	0			
無償役員報酬費用	1,750,000	1,412,932	337,068	内訳別紙	
人件費合計	1,755,000	1,412,932	342,068		
(2) その他経費					
事務所費	110,000	40,000	70,000	エルプラザブース使用料 (2021年5月～8月分: 10,000円/月)	
会議・会議費	3,000	3,000	0	2022年総会用	
旅費・交通費	8,040	0	8,040		

広報・宣伝費	3,000	0	3,000	インターネット環境：17,402円（サーバーレンタル：13,200円、ドメイン更新：4,202円）、携帯電話：18,281円、郵送費：1,374円
通信費	60,000	37,057	22,943	
印刷・製本費	1,000	0	1,000	
事務用品費	3,000	1,391	1,609	封筒代：330円、ノリ代（220円）、ヒンマイク代（641円）、冊掛けも代（200円）
消耗品費	3,000	3,091	△ 91	電池代（146円）、宛名シール代（2,945円）、
支払手数料	500	0	500	
管理雑経費	1,000	13,400	△ 12,400	ロッカー代、21年度：7,700円（1,100円×7ヶ月）、22年度：4,800円（400円×12ヶ月）、Wi-Fi貸出：700円（21年総会用）、スクリーン代：200円（22年総会用）
管理予備費	1,000	0	1,000	
管理事務作業提供	3,600	3,600	0	理事長（200円×12ヶ月）、副理事長（100円×12ヶ月）
無償施設・機器等受入・印刷費用	0	0	0	
その他経費合計	197,140	101,539	95,601	
管理費合計	1,952,140	1,514,471	437,669	
経常費用合計	2,262,640	1,937,601	325,039	事業費合計・管理費合計
科目	予算	決算	差額	備考
当期経常増減額	7,360	67,057	△ 59,697	経常収益合計-経常費用合計
III. 経常外収益				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	
IV. 経常外費用				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	
科目	予算	決算	差額	備考
当期経常外増減額	0	0	0	
科目	予算	決算	差額	備考
税引前当期正味財産増減額	7,360	67,057	△ 59,697	
法人税	0	0	0	免除予定
法人道民税均等割	0	0	0	20,000円、免除予定
法人市民税均等割	0	0	0	50,000円、免除予定
前期繰越正味財産額	409,960	409,960	0	
次期繰越正味財産額	417,320	477,017	△ 59,697	前期繰越正味財産額 409,960円＋当期財産正味増減額 67,057円 = 477,017円

V. 無償役務，寄付金および賛助金受入れなど

2021年度 寄付・無償役務等提供者一覧

寄付金	
氏名	金額 (円)
川村 信人	1,500
嵯峨山 積	10,000
柳下 文夫	50,000
計	61,500

管理区分無償役務			
氏 名	金額 (円)	備考(算定時間)	
在田 一則	8,890	10	
加藤 孝幸	8,890	10	
前田 仁一郎	934,000	1,066.5	
宮下 純夫	21,417	24.5	
岡村 聡	21,417	24.5	
嵯峨山 積	370,556	4,225	
関根 達夫	18,834	21.5	
中川 充	18,834	21.5	
川村 信人	4,445	5	
高波 鐵夫	2,583	3	
柳下 文夫	1,722	2	
田近 淳	1,344	2	
計	1,412,932	5,415.0	

受取寄付金・無償役務内訳	金額 (円)
受取寄付金	61,500
無償役務受入評価益	1,737,544
計	1,799,044

事業区分無償役務			
氏 名	金額 (円)	備考(算定時間)	事業内容
前田 仁一郎	11,445	13	会員交流会企画等
宮下 純夫	245,308	284	総合地質編集等
岡村 聡	21,000	24	HRCG通信編集
嵯峨山 積	3,014	4	野外観察会等
関根 達夫	9,069	10.5	野外観察会
高波 鐵夫	22,722	26	HRCG通信編集等
柳下 文夫	10,332	12	HRCG通信編集
岡 孝雄	1,722	5	野外観察会
計	324,612	378	

注) 北海道最低賃金 (4～9月：861円, 10～3月：889円)

以上の皆さまの貢献に感謝申し上げます。

VI. 後援，助成金受入れなど

1) 後援など

なし

2) 助成金などの受入れ

なし

北海道総合地質学研究センター年報編集担当 嵯峨山 積